

第214回11月定例教育委員会議事録

委員会次第

1. 開会宣言
2. 教育長あいさつ
3. 議事録の承認
4. 議題
5. 報告事項
6. その他
7. 閉会宣言

開会日時

令和元年11月22日（金）午後2時00分

会場

安来庁舎 防災対策室

出席委員の氏名

教育長	勝部 慎哉
委員	三輪 喜美代
委員	加藤 隆志
委員	岡本 亮啓
委員	小村 修司

出席者の氏名

教育部長	辻谷 洋子
教育部次長	青戸 厚志
学校教育課主査	三代 和宏
文化財課長	大谷 宏
給食教育課長	遠藤 朋範
教育総務課主幹	足立 隆博

1. 開会宣言

午後2時00分 教育長が開会を宣言する。

2. 教育長あいさつ

（教育長）今日はあとに総合教育会議が控えているので、あわせてよろしくお願ひ
します。学校関係は大きな行事が終わって落ち着いている。インフルエンザも
まだ発生したという報告はないが、これから心配されるところ。

昨日の新聞に島根県の少人数学級編成の見直しが載っていた。まだ確定はし

ていないが一学級編成が変わりそうで心配している。新聞には出ていないが、学校図書館司書の配置も見直しにするかもしれないと出ていた。学校図書館司書については、地方交付税措置で出ているはずで県からも出すと二重交付となるという理由。島根県教育員会連合会、島根県都市教育長会、島根県町村教育長会、島根県小学校長会、島根県中学校長会、島根県PTA連合会の6団体で県知事、県議会議長、県教育長へ現行制度維持の要望に行っている。

3. 議事録の承認 第213回10月定例教育委員会

(承認)

4. 議題

【議案第20号 議会12月定例会議(予算)について】

(教育部長) 資料1により説明。

(教育長) 質問はありますか。

(委員) アスベスト調査の対象はどこですか。まだ残っているところがありますか。

(教育部長) アスベストがあるかないかの調査だと聞いているが確認をします。

(承認)

(教育長) 委員の皆さんから議題はありますか。

(委員) 少人数学級編成で32人、38人に当てはまる学校はありそうですか。

(教育長) 現時点で全県では小学校が140学級、中学校が58学級が対象になっており、そのうち安来市は小学校4学級、中学校4学級が対象。仮に見直しになれば影響がまったくないことはない。特に要望に行った時にでたことは、大規模校の5学級のところが4学級になるより2学級だったところが1学級になるところが弊害が大きい。2学級が1学級になるとクラス替えができなくなる。そのデメリットを話をした。安来の場合は一中を除けば2学級が1学級になるというケースになる。来年度すぐにといいわけではない。

(委員) 全国的に見て文科省の基準でやっているところと、島根県のように少人数でやっているところとどちらが多いか。

(教育長) 学級編成は県で決めることとなるので、都道府県のなかではほとんどの県が少人数学級編成。ただ人数は各県によって違う。例えば鳥取県では、小学1年生は30人、中学1年生は33人。あとは35人学級。かなりの県が少人数学級編成でやっている。島根県は完全にこの形ができたのが、平成28年からなのでまだ4年。これから県議会が始まるので、まだ確定ではない。

新聞には島根創生計画の目玉政策である放課後児童クラブへの支援充実と子ども医療費助成の対象拡大に当てる考えとあった。教育のところを削って福祉の部分に当てるという考えのよう。

(委員) 学級の人数を増やして、放課後児童クラブというみんなが対象ではないところに手厚くする感じで受け取った。学校を充実した方がいいと思うが。

(教育長) 決まってもないものが、新聞報道で案として表に出たので、都市教育長会も要望にいったが再度集まりがあると思う。教育関係団体からも現行制度維持ということでお願いをした。

(委員) 来年からではないということだが。

(教育長) 再来年の2021年度からの考え方のよう。

(委員) それは財政の問題でしょうか。

(教育長) 10億円以上かかっている事業が見直しをしているとのこと。島根創生計画ができており、その財源をなんとかしないといけないらしい。

(教育部長) 地方創生の計画を県・市町村もつくっている。ちょうど今年が見直しの年。人口減少対策のための地方創生の計画になる。何とか人口減少を食い止めようというために子育て支援を充実させたい。それには財源が必要で、どこかを見直さないといけないということで何事業かピックアップされて検討されている。その事業の一つに少人数学級の見直しが入ったということ。一番の目的は人口減少対策。そのために子育て支援をしないといけないという考え方。

(委員) 学級の人数を増やすことは子育て支援の反対の動きのような気もするが。

(委員) お金がかかるのは医療ですね。

(教育部長) 乳児医療費は市町村ごとにバラバラで、小学校までのところまでもあれば高校まで無料だといっている市町村もあって、統一してほしいという声もあり、知事の公約として医療費の無償化というのを掲げておられたので、それに向けて対策を練っておられると思っている。

(教育長) 学級を減らしてそこに財源を生み出すという考え方としては分からなくもないが、学力向上を随分言ってきて、きめ細やかな指導をしたり図書館活用教育、教育魅力化事業をするなかで、正直逆行するだろうなと気がしている。

(委員) 決定しているのか。

(教育長) 決定はしていない。案が示されたということで、これからいろいろなところから論議があると思う。

県内の市町村教育委員会や教育長会の意思は現行維持でまとまっている。またこの件については、今後見守っていかないといけない。

安来市教育委員会として現行維持の継続ということで確認をさせてもらいたい。

(了 承)

5. 報告事項

- 1) 教育ICT環境整備について
- 2) 児童家庭相談体制について

6. その他

- ・市町村教育委員会研究協議会について

- ・給食センター学校給食精米品種の変更について

- ・その他

(教育総務課主幹) 本日の議題の 12 月定例会議補正予算のなかで、体育施設管理の件で質問をいただいたが、アスベスト調査については広瀬総合体育館。過去 2 回調査をしているが再度調査をするとのこと。漏電箇所調査については、市民体育館ということでした。

☆次回定例会：12月20日（金）午後3時00分

7. 閉会宣言

教育長が午後3時13分閉会を宣言し、11月定例委員会の日程を終了した。